

平成 2 3 年 度 事 業 計 画 書

1. 青少年を対象とする学校講道館の経営

学校講道館には普通科、特修科、国際科、補習科、及び研修科がある。各科においては、それぞれの対象をふまえた上で、生徒の実態や技能程度、習熟の度合い等に応じて、技術面と態度面から学習内容を展開する。技能に関する内容は、基本動作、対人技能、試合と段階的に進める。態度に関する内容は、特に礼法や相手を尊重する態度、公正な態度、健康・安全に関する態度及び柔道の持つ伝統的な行動の仕方などを重視して指導に当たる。

(1) 普通科

柔道の初心者を対象にした科。柔道の基礎的な実技と理論について指導する。

(2) 特修科

普通科を終了した者、あるいはそれと同等の力量を有するものを対象とした科。柔道の一般的な実技と理論について指導する。

(3) 国際科

外国人で柔道の指導を受けたい者を対象とした科。その実技と理論を基礎的な過程から専門的な過程へと段階的に指導する。

(4) 補習科

特修科を終了した者、あるいはそれと同等の力量（初段以上の経験者）をもつものを対象とした科。自己研修（研究・乱取）を中心とし、専門的な技術指導、技の解説等をより高い程度まで指導する。

(5) 研修科

参段以上の者、あるいはそれと同等の力量をもつ者を対象とした科。柔道の高度な専門的技術、理論について指導する。

(6) 修行期間・授業時間

科	部	修業期間	規定出席数	授業時間	募集人員	入学期日	入学手続
普通科	少年部 (男・女)	3ヶ月	40日以上	午後 4:30~6:00	20名	毎月1日	前月25日~入学月の10日迄
	男子部	〃	〃	午後 5:30~	60名	〃	〃
	女子部	〃	〃	7:00	40名	〃	〃
特修科	少年部 (男・女)	9ヶ月	120日以上	午後 4:30~6:00	40名	〃	〃
	男子部	〃	〃	午後 5:30~	40名	〃	〃
	女子部	〃	〃	7:00	20名	〃	〃
国際科	Aクラス	1年	160日以上	午後 6:00~	30名	随時行う	
	Bクラス	6ヶ月	80日以上	7:30	20名		
補習科		1年	160日以上	午後 6:00~7:30	60名	毎月1日	前月25日~入学月の10日迄
研修科		2年	320日以上	午後 5:00~7:30	20名	4月1日	3月末日まで

2. 小中高等学校等の柔道指導者に依る青少年の健全育成に関する協議会の開催

本年8月21日、22日と和歌山県和歌山市において、全国中学校柔道大会に先立ち、中体連柔道競技部の全国(47都道府県)委員長を対象として、「講道館中学校柔道指導者講習会」を開催し、柔道の教育的、体育的、精神的面から柔道を通して次代を担う青少年の健全な育成をはかる方策等について意見交換をする。

3. 柔道に依る青少年の健全育成に関する実践報告会及び研究会の開催

- (1) 5月15日(日)に青少年の柔道普及を目的とした少年部錬成発表会を、講道館大阪国際柔道センターにて開催する。当日は、日頃の練習の成果を乱取り、試合等を通じて披露するとともに、高段者による各種形の演技も併せて行われる。
- (2) 8月中旬(予定)、講道館大阪国際柔道センターに関東と関西の幼少年部の練習生と家族・指導者が集まり、親睦を図るとともに、合同稽古・親睦試合を通じて日頃の稽古の成果を披露する。
- (3) 2月11日(土・祝)に全日本柔道少年団各県代表者会議を本館にて開き、柔道少年団の組織の確立、少年団活動の一層の充実強化を図るための具体案、我が国の将来を担う小学校児童の健全育成の方法、問題点の解明等について報告、研究会を行う。

4. 柔道に依る青少年の健全育成に関する国内外諸団体との連絡資料交換及び交流

講道館段位推薦委託団体(111団体)の会長会議を平成24年3月に開催する。
会議では各地の青少年の柔道普及振興の為の具体策などについて意見の交換を行う。

5. 講道館道場における柔道の指導教授

- (1) 道場における修行者の指導を適切に行うため、道場指導部においては錬成部指導員(15名)、成年部指導員(24名)、女子部指導員(18名)及び大阪道場指導員(22名)を選任し、学校講道館では少年部講師(23名)、男子部講師(34名)、女子部講師(12名)及び国際部講師(11名)を選任し、各部毎に指導計画、実施方法を定めて指導する。特に、指導に当たっては、柔道技術面だけにとどまることなく、礼法や相手を尊重する態度、公正な態度、柔道の持つ伝統的な行動の仕方等を重視して修行者の指導にあたる。
- (2) 稽古時間及び指導時間
(本館) (大阪)
ア. 一般稽古 午後6:00~8:00
 平日 男子 午後4:00~8:00
 女子 午後5:30~7:30
 土曜 男子 午後4:00~7:30
 女子 平日に同じ
イ. 少年指導 午後4:30~6:00 午後5:00~6:00
ウ. 「形」指導 毎月第2、第3土曜日
 午後3:30~5:30
- (3) 学校講道館講師、道場指導員、及び柔道高段者を対象に、資質の向上と自己研鑽に資する目的で、下記研修会を毎月2回実施する予定である。
ア. 講道館、各種の形及び技の研修
イ. 講道館柔道試合審判規定、及び国際柔道連盟試合審判規定の研修

6. 柔道に関する講習会の開催

(1) 夏期講習会

本年度夏期講習会を下記のとおり行う。

講習名	受講資格	講習の目的	期間
第1部	四段以上、女子弐段以上	指導者の資質向上	7/19～7/25
第2部	参段以下の有段者・無段者	修行者の基礎の確立	7/26～7/30
女子柔道	女子柔道修行者	同上	7/26～7/29
少年柔道	少年柔道修行者	同上	8/1～8/3
教科柔道 指導者講習会	柔道修行者及び 教科柔道指導者	指導法の学習	8/1～8/3

(2) 講道館講習会

正しい柔道の普及発展を図るため、本館からの講師派遣（経費は講道館負担）による講道館講習会を下記のとおり実施する。

ア. 地方の要請に応じ、「形」、「審判規定」、「安全指導」その他の講習会に講師を派遣する。

(ア) 派遣先：約20都道府県

(イ) 人員：約25名（各県1～2名）

イ. 全国10地区で「形」の講習会を開き、講師を派遣する。

(ア) 派遣先：全国10地区

(イ) 人員：各地区につき2名～4名

7. 柔道に関する調査研究

(1) 講道館柔道科学研究会は、嘉納治五郎師範の下に結成された柔道医事研究会の流れを継承している。

現在、本研究会は、

事務局本部

第1研究室・・・柔道の原理的研究、歴史的研究

第2研究室・・・柔道の心理的研究、統計、因子分析的研究

第3研究室・・・体力測定、試合分析

第4研究室・・・柔道の生理学的研究、バイオメカニクス的研究

の5室に分かれて研究の為の実験用具・機器、図書文献等の整備を図りつつ、継続研究として、柔道の原理・歴史研究班、体力研究班、技術分析班、指導研究班、心理研究班に分かれて研究活動を進め、研究結果のまとめとして、指導研究班の研究集会を開催する。

(2) 講道館技研究部会は、講道館柔道の投技、固技、当身技及び各種の形に関する研究会を毎月2回開催する。

(3) 技のDVD作成委員会で引継ぎ、後世に残すべき技を記録したDVDを作成する。また、平成の全日本柔道選手権大会のDVD（激闘の轍・平成版）を作成する。

8. 柔道の大会（全日本柔道連盟と共催の大会も含む）

(1) 皇后盃全日本女子柔道選手権大会

ア. 期 日 平成23年4月17日（日）

イ. 場 所 横浜文化体育館

ウ. 出場者 前年度優勝者、準優勝者、前年世界選手権優勝者4名及び地区選出34名

(合計40名)。

地区選出は、東京8名、関東7名、近畿5名、
北海道・東北・北信越・東海・中国・四国・九州各2名

(2) 全国柔道高段者大会

- ア. 期 日 平成23年4月28日(木)
- イ. 場 所 本館道場
- ウ. 参加者 約1,300名

(3) 全日本柔道選手権大会

- ア. 期 日 平成23年4月29日(金・祝)
- イ. 場 所 日本武道館
- ウ. 出場者 前年度優勝者、準優勝者、世界選手権優勝者4名及び地区選出35名
(合計41名)。
地区選出数は、東京9名、近畿5名、九州5名、関東4名、
北海道・東北・北信越・東海・中国・四国各2名

(4) 全国少年柔道大会

- ア. 期 日 平成23年5月5日(木・祝)
- イ. 場 所 講道館
- ウ. 出場者 都道府県各1チーム(東京都2チーム)
1チーム5名計約240名

(5) 全日本柔道「形」競技大会

- ア. 期 日 平成23年10月23日(日)
- イ. 場 所 講道館
- ウ. 出場者 10地区から各14名および全国枠約10名(合計約150名)

(6) 講道館杯全日本柔道体重別選手権大会

- ア. 期 日 平成23年11月12日(土)～13日(日)
- イ. 場 所 千葉ポートアリーナ
- ウ. 出場者 男女各7階級約400名

9. 柔道指導者の養成並びに外国派遣等

(1) 海外派遣

- ア. 本館による短期使節団派遣(昇段試験及び柔道指導、形講習会)
 - ・シリア
 - ・ラオス
 - ・スリランカ
 - ・欧州 講道館形講習会
- イ. 海外柔道連盟招聘による本館短期派遣
 - ・香港
 - ・ロシア
 - ・オランダ
 - ・ドイツ
 - ・その他
- ウ. その他派遣(必要に応じて)

(2) 外国人受入

- ア. 講道館国際指導者セミナー
海外からの指導者に対して、柔道に関わる技術、理論を幅広く指導する。
 - ① 平成23年夏 (日程未定) 約3週間 人数: 約6名
 - ② 平成24年春 (日程未定) 約3週間 人数: 約6名
- イ. 各国チーム長期受入
 - ・ナショナルチーム 3カ国 平成23年秋(約1ヶ月間)
 - ・東南アジア各国チーム(形) 4カ国 平成23年秋(約1ヶ月間)

- ウ. 外国人要人受入
海外からの要人に対して、全日本選手権大会、グランドスラム東京の観戦及び講道館での柔道指導の現場視察、意見交換を通じて、日本柔道への理解を深めてもらう。
- エ. 外務省招聘 外国人受入
外務省招聘による海外からの指導者に対して、柔道に関わる技術、理論を幅広く指導し、日本文化としての柔道を紹介する。
(日程未定) 約2週間 人数: 約10名
- オ. 各国連盟受入
フランス指導者50名、フランス・クラブ指導者40名、韓国指導者10名、ロシア形指導者10名、ドイツ形指導者25名、カザフスタンナショナルチーム10名、イエメンナショナルチーム10名、等約15ヶ国各国ナショナルチーム延べ約200名
- カ. 政府関係からの依頼による外国人グループ受入
・内閣府国際青年育成交流事業
・JICA 招聘イラク警察官グループ
・その他
- キ. その他一般の受入
・その他の団体及び個人修行生を適宜受け入れる(約200名の見込み)
・来館前、来館中、来館後の様々な手続き
・講道館入門・講道館宿泊の手続き、講道館での稽古のための手続きと指導
・開発途上国チーム宿泊費補助制度
・昇段試験の実施、出稽古の手配
- (3) 海外情報の収集、分析
- ア. 在日外国人修行者からの情報収集
・意見交換及び親睦会
- イ. 在外日本人修行者からの情報収集
・平成23年7月 講道館夏期一部講習会期間中(東京)
・平成23年12月 グランドスラム東京国際大会期間中(東京)
・JICA ボランティア帰国報告のための来館時
- ウ. 来日外国人役員からの情報収集
- (4) JICA ボランティア及び在外指導者支援事業
- ア. JICA 青年海外協力隊補完研修(含 シニアボランティア)
JICA の青年海外協力隊から海外に派遣される柔道隊員候補生に対して、柔道を通しての国際協力(柔道指導)を行う上での、指導者としての資質向上を図るため柔道に関わる総合的事項を指導する。
・平成23年秋(日程未定) 対象:平成23年4次隊 人数未定
・平成24年春(日程未定) 対象:平成24年1次隊 人数未定
- イ. 柔道器材支援事業
JICA ボランティアの派遣先や在外日本人指導者の関係先及び必要とする国・団体に柔道衣を贈る支援活動を行なう。支援活動に必要な柔道衣を下記の方法で確保する。
・柔道衣製造業者からの購入(主に子供用柔道衣)
・柔道衣製造業者からの寄贈
・有志団体からの寄贈(必要時のみ)
- ウ. 在外日本人指導者への情報提供
・全日本選手権大会プログラム及び大会関連新聞記事の送付
・講道館カレンダーの送付
・柔道関係資料の送付及び寄贈
- エ. 講道館ホステル宿泊費免除制度
・在外日本人指導者宿泊費免除制度
- (5) 国内開催国際イベントにおける渉外部門
国内開催国際イベントにおける渉外部門業務を円滑に行なう
・グランドスラム東京

- (6) 講道館柔道の海外普及、伝達
 - ア. 「Jigoro Kano and The Kodokan」の寄贈
 - イ. その他情報発信
- (7) その他
 - ア. 国際交流基金への賛助
 - イ. その他国際業務

10. 海外支部の設置運営

資金面で当分実現困難の状況にある。

11. 柔道に関する図書、雑誌等の編集発行

- (1) 雑誌「柔道」
講道館機関誌であり、且つ全日本柔道連盟連絡誌である月刊「柔道」を毎月1日に2,600部発行(基準)する。
- (2) 図書
 - ア. 既に発行され、販売中のもの。
投の形、固の形、柔の形、極の形、講道館護身術、五の形・古式の形、昇段に関する内規
K I M E - N O - K A T A ・ J U - N O - K A T A (仏 文)
講道館柔道科学研究会紀要(英文つき)1~12輯
嘉納治五郎(伝記)
講道館柔道試合審判規定
柔道用語小辞典
激闘の轍
- (3) ビデオ
 - ア. 既に発行され、販売中のもの。
投技・固技・古式の形・五の形・術から道へ(以上は英語版も発行)・鏡開式
- (4) DVD
 - ア. 柔道の普及振興を図るため、作成販売するもの
激闘の轍(平成編)
 - イ. 既に発行され、販売中のもの。
投の形、固の形、極の形、柔の形、講道館護身術(日本語版、英語版PAL及びNTSC)
全日本柔道選手権大会・激闘の轍(昭和編)・名勝負と感動の記録(世界柔道選手権大会)
* 順次、DVD化を図るものとする。

12. 柔道に関する文献資料の蒐集・保存及び展示

- (1) 資料館
 - ア. 展示環境及び保存環境の向上(清掃、点検等)
 - イ. 資料の収集促進と目録作成
 - ウ. 資料館利用者への対応
 - エ. 大会開催日における休日開館
 - 予定: 第31回全国少年柔道大会基本錬成(5月4日)
 - 平成23年度全日本少年武道錬成大会前日(8月)
 - 平成23年全日本柔道「形」競技大会(10月23日)
 - 千代田区柔道大会(10月)
 - 第60回全国青年大会柔道競技(11月)
 - 第26回全日本視覚障害者柔道大会(11月)

鏡開式（平成24年1月8日）

(2) 図書館

- ア. 国内外の柔道に関する文献及びAV資料等の収集保存と閲覧提供
- イ. 主要大会プログラムの収集保存と閲覧提供
- ウ. 逐次刊行物の受入継続と整備
- エ. 柔道の書籍や歴史などに関する質問及びマスコミ取材への対応
- オ. 講道館ウェブサイトにおける図書資料部関連記事の更新

1.3. 柔道の段位認定・入門・昇段登録

- (1) 各講道館段位推薦委託団体の申請に基づき、入門者に館員証、昇段登録者に昇段証書を発行する。
本年度の推定人員は次のとおり。

- ア. 入門者 約 25,000人
- イ. 昇段登録者 約 33,000人

参考資料（過去10年間の入門者数推移、カッコ内は女性の数(内数)）

平成13年	25,576人	(3,904)
平成14年	27,553人	(4,412)
平成15年	27,152人	(4,319)
平成16年	26,671人	(4,192)
平成17年	27,116人	(4,295)
平成18年	28,278人	(4,378)
平成19年	25,188人	(3,828)
平成20年	25,281人	(3,936)
平成21年	23,929人	(4,062)
平成22年	24,105人	(4,215)

推定

1.4. 其の他本財団の目的を達成するための必要なる事業

(1) 暑中稽古

- ア. 本館 7月13日～7月22日 10日間
- イ. 大阪 8月2日～8月6日 5日間

(2) 寒稽古

- ア. 本館 1月6日～1月15日 10日間
- イ. 大阪 1月11日～1月15日 5日間

(3) 紅白試合

- ア. 本館 6月及び10月
- イ. 大阪 4月及び11月

(4) 月次試合

- ア. 本館 6月、及び10月を除く各月
*5月、9月、3月には女子も実施する。
- イ. 大阪 5月、7月、9月及び11月